

すぎのこ学級 国語科学習指導案

児童 2年2名 3年1名 4年1名 6年1名 計5名
 指導者 T1 T2

1 単元名 新聞をつくろう ～おもいがとれたよ～

2 単元について

(1) 児童について

本学級には、ダウン症、脳性麻痺、知的障がいの子が在籍している。喃語を話すことができる段階の児童から簡単な文章の読み取りができる段階の児童まで、発達段階の大きな差や年齢の違いもあり、「話す・聞く」「書く」「読む」の実態も多様である。そのため、各教科は個別の学習を中心に行っている。領域や教科と領域を合わせた授業では、相手に関心をもって働きかけようとする力が育ってきており、大切な学び合う場となっている。本学級の児童は、素直で明るく、知っている人と接することを好む児童が多いが、自分の思いを言葉で表すことが難しかったり、どのように話していいかわからず会話がうまく続かなかったりする児童もいる。人とのかわりはかなり限られていて、本学級児童と家族、特別支援学級担任程度の児童もいる。慣れていない人がいるだけで体の動きが止まったり、いつもはできていることが環境的な変化によりできなかつたりすることもある。

児童	単元にかかわる児童の実態
A男 2年	<ul style="list-style-type: none"> ・身振りや声で表現する。(話す) ・教師からの簡単な指示や説明を聞いて、できるだけその通りに行動する。(聞く) ・平仮名のなぞり書きができるようになってきている。(書く) ・自分の名前が大体区別できる。(読む)
B女 2年	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な言葉で表現する。(話す) ・教師からの簡単な指示や説明を聞いて、できるだけその通りに行動する。(聞く) ・簡単な語句や短い文を平仮名や片仮名で書く。(書く) ・絵本を読む。(読む)
C女 3年	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達に話しかけたり働きかけたりする。(話す) ・簡単な指示を聞き取り、それに沿って行動する。(聞く) ・簡単な語句や短い文を平仮名や片仮名、1年生程度の漢字を使って書く。(書く) ・絵本や易しい読み物を読む。(読む)
D男 4年	<ul style="list-style-type: none"> ・事柄の順序をたどって、経験したことを話す。(話す) ・話を終わりまで注意して聞く。(聞く) ・簡単な手紙文や日記を書く。(書く) ・易しい物語を読む。(読む)
E男 6年	<ul style="list-style-type: none"> ・見聞きしたことや経験したことのあらましを家の人や教師などに話す。(話す) ・教師などの説明や友達の話の聞いて、内容のあらましがわかる。(聞く) ・簡単な手紙文や日記を書く。(書く) ・雑誌などの興味のあるところを読む。(読む)

(2) 単元について

本単元「新聞をつくろう」は、年間の生活単元学習や行事などの体験活動と関わり合わせながら、楽しかったことを伝える学習活動である。新聞をつくる学習は、今年度の4月から始め、月に1枚以上のペースで取り組んでいる。自分の思いをもつことや思いを言葉で表すことが難しい児童、自分の気持ちを入れながら簡単な文章を書くことができる児童など様々である。しかし、どの児童も自分なりの新聞をつくり上げた満足感や成就感をもつことができている。つくった新聞を職員室にいる先生やすずかけ・さくら学級児童、保護者に渡し、「上手だね。」などと認めってもらうことは、次の新聞づくりの励みになっている。児童は、人に話しかけることが苦手であるが、学級で新聞の渡し方の練習をし、話し方をパターン化することで話すことに少しずつ慣れてきている。

本単元では、生活単元学習「おもいがとれたよ」の体験活動と結びつけて行う。楽しかった体験を先生や友達、保護者に伝えるため、実際の体験を写真や教師とのやりとりにより思い出しながら自分の気持ちと思いを伝える新聞をつくっていく。そして、つくった新聞を渡す活動を通して、人に自分の気持ちと思いを分かってもらえることの楽しさを味わわせ、コミュニケーションの基本的な力を付けさせたいと考える。

5W1Hの「いつ」「どこで」「誰が」「何をした」の視点は、これまで生活単元学習の導入の段階で児童に提示してきている。視点を示すことで児童は見通しをもって学習に取り組むことができる。そして、本単元での新聞をつくる段階でもこの視点を繰り返し提示することは、体験を想起するのに役立つと思われる。

記憶が苦手な過去の体験を思い出すことが困難な児童は、実際に体を動かさずに見たり聞いたりしたことだけだと記憶に残りにくかったり、数時間前に体験したことでも言葉だけでは記憶を言語化することが難しかったりする。そこで、思考の手助けとなる写真やじゃがいもなどの具体物を提示したり、教師とやりとりをしながら体験を想起させたりすることによって、適切な言葉を考えることができるようにする。

年間を通して新聞をつくるにあたって、相手意識、目的意識をはっきりもたせたい。新聞を一番に渡したい相手を選ばせ、相手の写真を掲示して相手意識をもち続けることで、新聞づくりの「見る」「話す・聞く」「書く」「読む」の興味・関心をしっかり育てていきたい。また、生活単元学習の楽しい体験を伝えるために新聞をつくるという目的意識をもたせるようにする。

3 単元の目標

体験したことを思い出して、新聞に表し、交流することができる。

4 単元の指導計画（全8時間）

学 習 活 動			
（生活単元学習「おもいがとれたよ」と振り返り学習）			
時	A男・B女	時	C女・D男・E男
1 (本時)	・伝えたい相手を決める。 ・体験したことを思い出す。	1 (本時)	・伝えたい相手を決める。 ・体験したことを思い出す。
2	・写真を選ぶ。 ・伝えたい内容を決める。 ・記事と見出しを書く。	2	・写真を選ぶ。
		3	・伝えたい内容を決める。
		4	・記事と見出しを書く。
		5	・友達の新聞の内容を聞いたり、写真や絵を見たりして交流する。
3	・新聞の渡し方の練習をする。	6	・新聞の渡し方の練習をする。
4	・新聞を配達する。	7	・新聞を配達する。
		8	・新聞配達を振り返る。

5 具体の評価規準と支援

児童	観 点			支 援
	話す・聞く	読む・書く	コミュニケーション	
A男 2年	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て、身振りや声で表現することができる。 ・新聞に張りたい写真を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の名前と新聞の題名のマッチングができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の顔を見て話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本物のいもを提示し興味をもたせる。 ・A児やB児、C児が写っている写真を提示し、興味をもたせる。
B女 2年	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て、「誰が」「何をした」かを話すことができる。 ・一番楽しかったことの写真を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を受けながら「いつ」「何をした」の文を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の顔を見て話す。 ・相手の質問に反応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A児やB児、C児が写っている写真を提示し、興味をもたせる。
C女 3年	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て、「誰が」「どこで」「何をした」かを話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～しました」の文を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の顔を見て話すことができる。 ・相手の顔を見ながら、質問に答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本物のいもを提示し興味をもたせる。 ・A児やB児、C児が写っている写真を提示し、興味をもたせる。 ・教師の話をヒントに文章を考えていく。
D男 4年	<ul style="list-style-type: none"> ・「いつ」「誰が」「どこで」「何をした」や周りの様子について思い出し、話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・したことや思ったことを付箋紙にたくさん書くことができる。 ・板書を見ながら「いつ」「誰が」「どこで」「何をした」の文を一人で書き進めることができる。 ・文字を濃く丁寧に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の質問に合わせて答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・したことや思ったことを付箋紙に書いていく。 ・したことを思い出せないときは、D児が写っている写真を提示する。 ・したことを内容により分類させる。 ・鉛筆を正しく持つよう声掛けをする。
E男 6年	<ul style="list-style-type: none"> ・「いつ」「誰が」「どこで」「何をした」や周りの様子について思い出し、話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・したことや思ったことを付箋紙にたくさん書くことができる。 ・板書を見ながら「いつ」「誰が」「どこで」「何をした」の文を一人で書き進めることができる。 ・感想とその理由を入れながら、文を書き進めることができる。「感想の言葉」の表を見ながら 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の質問に合わせて答えることができる。 ・身振りを交えて伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・したことや思ったことを付箋紙に書いていく。 ・したことを思い出せないときは、E児が写っている写真を提示する。 ・教師と一緒に話をしながら内容をふくらませる。 ・したことを内容により分類させる。 ・「感想の言葉」の表を使い、体験したときの気持ちや理由を付けて書いていく。

6 本時の指導（1／8時）

(1) 目標

伝えたい相手を決め、体験したことを思い出す。

すずかけ・さくら学級 国語科学習指導案

児童 3年1名 4年2名 5年1名 6年1名 計5名
 授業者 T1 T2 T3

1 単元名 新聞をつくろう ～おいもがとれたよ～

2 単元について

(1) 児童について

本学級は病弱・肢体不自由児と自閉症・情緒障がい児の学級であり、生活や学習の場面において支援を必要とする児童たちが在籍している。学習は下学年の内容を行っている。児童は、それぞれの障がいから生活経験や興味の範囲が狭い。そのため、身の回りの人や事物・事象に関心を向けることはできるが、環境の変化に素早く反応したり、適当な行動をしたりすることに不十分さがみられる。また、自分の意思を相手に伝えたり、相手の言いたいことを受けたりすることが難しく、限られた人間関係になってしまうことが多い。

これまで児童は日常活動の中でスピーチをしたり日記を交流したりしてきている。また、自分のことや身の回りの出来事を知らせる個人新聞づくりを行い、身近な人に届ける活動をしてきた。書くことや話すことに抵抗があった児童も、相手を決めて書き、出来上がった新聞を届けるという活動を通して、人とかかわることや新聞をつくることを楽しむようになってきている。

児童	単元にかかわる児童の実態
A男 3年	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のあるものについて絵を描く。(表現) ・したことや興味のあることについて話したり、興味のある言葉に反応したりする。(話す) ・返事をして立つこと、教師の質問に答えることに取り組んでいる。(話す・聞く) ・1年生の教科書や自分の書いた日記・新聞を読む。口をしっかりと開けてはっきり発音することに取り組んでいる。(読む) ・平仮名、カタカナ、1年生程度の漢字を書く。正しい鉛筆の持ち方で字形を整えて書くことに取り組んでいる。(書く)
B男 4年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のしたことについて「いつ」「どこで」「誰が」「何をした」を話す。(話す) ・友達の発表から、「いつ」「どこで」「誰が」「何をした」を大体聞きとる。(聞く) ・話を聞いて状況を思い浮かべること、言葉と事象を結び付けて内容を理解することに取り組んでいる。(理解) ・2年生程度の教科書を音読する。大事な言葉を、ゆっくりはっきり読むことに取り組んでいる。(読む) ・「いつ」「どこで」「誰が」「何をした」を思い出して文を書く。書く場面や内容のパターンを増やすことに取り組んでいる。(書く)

C男 4年	<ul style="list-style-type: none"> ・体験を絵で表現する。(表現) ・絵から内容を思い出して話す。語尾までしっかり話せるように取り組んでいる。(話す) ・友達の発表から、「いつ」「どこで」「誰が」「何をした」を大体聞きとる。(聞く) ・ひらがなやカタカナを拾い読みし、その大体を書く。(書く) ・促音、拗音に気を付けて書くこと、文を続けて読むことに取り組んでいる。(読む・書く)
D男 5年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の関心事について知識や考えをもち、詳しく話す。(話す) ・興味があることについて、わからないことを尋ねる。(聞く) ・自分の書いた内容を理解し読む。聞き取りやすい読み方に取り組んでいる。(読む) ・伝えたい内容が相手に伝わるように書くことに取り組んでいる。(書く)
E男 6年	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の良いところを見つけて褒めたり、声をかけたりする。(態度) ・友達の発表から、「いつ」「どこで」「誰が」「何をしたか」をだいたい聞き取り、疑問に思ったことを質問する。(話す・聞く) ・自分の体験を知らせたいという意欲をもち、積極的に話す。内容が詳しく伝わるように「どのように」を入れて話すことに取り組んでいる。(話す) ・大きな声でしっかりと読む。(読む) ・「いつ」「どこで」「誰が」「何をした」を入れて文を書く。様子や会話文を入れて書くことに取り組んでいる。(書く)

(2) 単元について

本単元は、年間を通して取り組んでいくものである。行事や生活単元学習と密接にかかわらせながら、コミュニケーションに必要な語彙の獲得や「話す」「聞く」「読む」「書く」など言語の基本的な能力を育てていくものである。また、コミュニケーションに必要なスキルの獲得をねらうとともに、身の回りの人とのかかわりを楽しみながら、身の回りの事象への興味や関心を広げさせていきたいと考える。

記事を書くための5W1Hは、場面や事象の構造化に効果的である。児童は、5W1Hの視点をもつことにより体験や活動内容を思い出し、再構成することができるようになってきた。また、その視点をもって聞くことで相手の伝えたいことをとらえられるようになってきている。そして、自分とは異なる体験や事象に触れることで、語彙や興味関心の幅が広がってきている。言語活動を充実させることは、子ども達の思考力を育むことになる。

交流場面は①学級内、②学級外と2段階設定する。新聞に書かれている内容を共有している学級内の場面では、テレビの画面に新聞を映し出しながら発表し合い、クイズや友達とのやりとりを通して自分達の表現した事象を改めてとらえ直す。また、学級外の交流では、家族や先生方、そして交流学級の友達へと相手を広げていく。内容を知らない相手から質問を受けて説明する場面も生ずる。読後の感想を寄せられることもある。いずれの交流でも情報は双方向性をもち、コミュニケーションの喜びを感じることができると考える。

それぞれの学習場面では、児童に快感情をたくさん味わわせ、成功体験をつまませていく。その中で他者やいろいろな事象への関心を広げるとともに、学習意欲を高めていきたい。

3 単元の目標

体験を新聞に表し、新聞を通して相互に伝達ができるようにする。

4 単元の指導計画 (全 9時間)

時	学 習 活 動
(生活単元学習) 体験活動	
1～4	体験を想起し、新聞づくりの相手と内容を決める。 写真を選んで記事と見出しを書く。
5	新聞を発表し、情報を伝え合う。
6 (本時)	
7	新聞の渡し方や感想の聞き方を練習する。
8	先生方に自分の新聞を渡し交流する。
9	交流を振り返る。

5 具体の評価規準と支援





児童	観 点			支 援
	話す・聞く	読む・書く	コミュニケーション	
A男 3年	<ul style="list-style-type: none"> みんなの前で話す。 「いつ」「どこで」「誰が」を聞き取る。(カードから選択。) 	<ul style="list-style-type: none"> 話したことを書く。 一人で新聞を読む。 安定した声の出し方で読む。 	<ul style="list-style-type: none"> 渡したい相手を意識する。 教師の支援を受けながら、話題のことに目や耳を向ける。 	<ul style="list-style-type: none"> モデルを示し、練習させる。 写真や絵、言葉カードの中から選ばせる。
B男 4年	<ul style="list-style-type: none"> 絵・写真を手がかりに体験を話す。 内容を理解する。 「どんな」「どのように」を聞き取る。 内容を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 大事な言葉をゆっくり、はっきり読む。 「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「どうした」に沿って、書き進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話が終わってから話す。 相手の顔を見て、話が終わるまで待つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容が理解できているか質問して確認する。理解できていない時には聞き返えしたり、解説したりする。 ヒントになる言葉を示す。 ごほうびカードを渡す。
C男 4年	<ul style="list-style-type: none"> 絵・写真を手がかりに話す。 語尾まで話す。 5W1Hを聞き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 促音、拗音の読み書きをする。 書いた文を途切れないように読む。 	<ul style="list-style-type: none"> 顔を見て話す。 分からない時は「わからない」と言う。 答え方を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> 覚えるまで何度もモデルを示す。 忘れたら、言葉や絵のヒントを与える。 めあてカードを示す。
D男 5年	<ul style="list-style-type: none"> 話す内容を決めて、短く話す。 集中して聞く。 質問や感想を持ちながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験を想起する。 聞き手に伝わる声かどうかを意識して読む。 	<ul style="list-style-type: none"> 質問に対応した答え方をする。(聞かれたことに答える。) 	<ul style="list-style-type: none"> 集中して聞けるように声をかける。 相手の問いが何であったかを想起させるように声をかける。
E男 6年	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話で疑問に思ったことを質問する 聞き取った内容を伝える。 「どのように」を聞きとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真などを手掛かりに体験を思い出して書く。 聞き手を意識してはっきりと読む。 	<ul style="list-style-type: none"> 質問に反応する。 しっかり答える。 無視しない。 答え方を覚える。 聞き返す。 	<ul style="list-style-type: none"> 考えに自信がもてるように励ます。 質問の意味を説明する。




6 本時の指導 (6/9時)

(1) 目標

新聞を発表し合い、伝え合う能力を高めることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	支援 (・) 評価 (※)				
		2年A男	2年B女	3年C女	4年D男	6年E男
つかむ 5分	<p>1 課題を確認する。</p> <p>これは、何でしょう。</p> <p>みんなで収穫したいもだね。</p> <p>「おいもがとれたよ」の しんぶんを かこう。</p> 	<p>・じゃがいもとさつまいもを見せ、学習活動への興味・関心を引き付ける。</p> <p>いもだ。</p> <p>この前、調理したよ。</p>				
	<p>2 活動の見通しをもつ。</p>	<p>・学習の進め方を提示し、活動の見通しを図る。</p> <p>①伝える相手を決める ②思い出す ③書くことを選ぶ ④書く (⑤発表する⑥渡す練習⑦配達)</p>				
深める 37分	<p>3 伝える相手を決める。</p> <p>新聞をだれに一番渡したいですか。</p> 	<p>・先生や保護者の写真を提示し、伝えたい相手の写真を選んで黒板に張り、相手意識を図る。</p> <p>〇〇先生</p> <p>お母さん</p> <p>・相手を決められない時は、複数でもよいことを伝える。</p>				
	<p>4 体験を思い出す。</p> <p>誰が写っていますか。</p> <p>どんな活動をしましたか。</p> <p>何をしていますか。</p> 	<p>・写真や5W1Hの視点のカードを提示し、体験を想起させる。</p> <p>・黒板を見るように声をかける。(T2)</p> <p>・AやBが写っている写真を見せる。</p> <p>・つぶやいたときは、正しい発音で、繰り返す。</p> <p>・顔を伏せているときは、顔を上げるよう声をかける。</p> <p>・Bの机上で写真を提示し、「誰」が写っているか問いかける。</p> <p>・発表できる環境にする。</p> <p>・言いたい言葉がでないときは、選択肢を与える。(T2)</p> <p>・発表できる環境にする。</p> <p>・発表ができないときは選択肢を与える。</p> <p>・発表できる環境にする。</p> <p>・発表ができないときは選択肢を与える。(T2)</p> <p>・活動内容に合った写真を選ばせる。</p> <p>・反応したときは、取り上げてほめる。</p> <p>※写真を見て、身振りや声に出して表現できたか。</p> <p>・反応したときは、取り上げてほめる。</p> <p>※「誰が」「何をした」かを話すことができたか。</p> <p>・発表ができたときには、取り上げてほめる。</p> <p>※「どこで」「誰が」「何をした」かを話すことができたか。</p> <p>※「いつ」「どこで」「誰が」「何をした」や周りの様子について話すことができたか。</p> <p>※「いつ」「どこで」「誰が」「何をした」や周りの様子について話すことができたか。</p> <p>買い物をしている。</p> 				

	<p>5 書くことを選ぶ。</p> <p>一番楽しかったことは何ですか。</p>  <p>6 書く。</p> <p>これは何をしているところかな。</p> 	<p>・T2と学習を進める。</p> <p>・AやBが写っている写真を提示し、一番楽しかった活動の写真を選ぶようにする。</p> <p>・前回書いた新聞を提示し、どのように書けばよいのか見通しがもてるようにする。</p> <p>・Bが新聞を書いている間に、名前と新聞の題字のマッチング課題を与える。</p> <p>・マッチングに集中できないときは、写真を提示する。</p> <p>※新聞に貼りたい写真を選ぶことができたか。</p>	<p>・Aが新聞を書いている間、写真を与える。</p> <p>・「いつ」「何をした」を一緒に確かめる。</p> <p>※一番楽しかったことの写真を選ぶことができたか。</p>	<p>・T1と学習を進める。机の配置を変える。</p> <p>・写真を提示し、一番楽しかった活動の写真を選ぶようにする。</p> <p>・写真を見せながら、したことを確かめる。</p> <p>・「いつ」「どこで」「誰が」「何をした」をT1と一緒に確かめる。</p> <p>・「した」と「しました」では、どちらがよいか一緒に確かめる。</p> <p>※「～しました」の文を書くことができたか。</p>	<p>・したことや思ったことを付箋紙に書かせ、用紙に貼るようになる。</p> <p>・したことを思い出せないときは、D児が写っている写真を提示する。</p> <p>・「いつ」「どこで」「誰が」「何をした」のカードを提示する。</p> <p>※したことや思ったことを付箋紙にたくさん書くことができたか。</p>	<p>・したことを思い出せないときは、E児が写っている写真を提示する。</p> <p>・T1と一緒に書く内容をふくらませていく。</p> <p>・「いつ」「どこで」「誰が」「何をした」のカードを提示する。</p> <p>・体験したときの気持ちを「感想の言葉」の表を参考にし、理由をつけて書くようにする。</p> <p>※したことや思ったことを付箋紙にたくさん書くことができたか。</p>
<p>まとめる 3分</p>	<p>7 学習を振り返る。</p> <p>上手にできてきたね。新聞ができたなら、〇〇先生に新聞を配達にいこうね。</p>  <p>8 次時の学習の確認</p>	<p>・前に出て、みんなに新聞を見せる。</p>	<p>・前に出て、みんなに新聞を見せる。</p>	<p>・作成途中の新聞を紹介する。</p> <p>・みんなの頑張りを認める。</p>		

(2) 展開

段階	学習活動	支援 (・)		評価 (※)		
		3年A男	4年B男 発表者	4年C男 発表者	5年D男	6年E男 発表者
つかむ	<p>1 活動の見通しをもつ。</p> <p>発表の順番は、○○○でしたね。次は・・・</p> <p>2 課題の確認をする。</p> <p>大事な言葉をゆっくり、はっきり。</p> <p>質問をする。質問に答える。クイズに答える。感想を言う。</p> <p>しっかり読もう。しっかり聞こう。</p>	<p>・事前に、たくさんの先生が来ること、新聞発表会の続きをすることを知らせておく。</p> <p>・活動の進め方を提示し、活動の見通しを図る。</p> <p>①ホワイトボード：活動の順番と内容 ②黒板：発表の順番</p>			<p>ぼくです。</p> <p>・意欲を高めるように1番目に指名する。</p>	
5分				<p>・新聞は、事前に読む練習をしておく。</p> <p>・それぞれの課題を確認する。</p>		
深める	<p>3 新聞発表会をする。</p> <p>* (1) (2) の繰り返し。</p> <p>(1) 新聞の発表をする。テレビに新聞を映しながら、発表する。</p> <p>(2) 新聞の内容をとらえる。</p> <p>①子ども同士で質問し合う。</p> <p>②教師による新聞クイズ。記事の内容についてのクイズ</p> <p>何をしましたか。</p> <p>どんなものでしたか。</p> <p>それは、どうして?</p> <p>でいすつのかのこと</p> <p>つどこのに行</p>	<p>(※新聞を書いている通りにゆっくり読めたか。)</p> <p>・「ゆっくり」と書いたボードを示し、上手に読めたらハンドサイン (OK) を送る。</p> <p>ゆっくりはしっかり読めたら、カードがもらえるよ。</p> <p>・質問をとらえられるように必要に応じてクイズをゆっくり繰り返す。</p> <p>・写真 (絵) や言葉カードを示して、話の内容を確認する。</p> <p>いつのこと? カードから選びます。</p> <p>※クイズ (いつ) の答えをカードから選ぶことができたか。</p>	<p>※大事な言葉をゆっくり、はっきりと読めたか。</p> <p>・よく伝わる読み方ができたときには、ごほうびのカードを渡すことを伝える。</p> <p>写真を見てごらん。…どうなってる?</p> <p>・答え易いように選択肢を2つか3つ提示する。</p> <p>○○? それとも△△だって?</p>	<p>※語尾まではっきりと読めたか。</p> <p>文の終わりまではっきり聞こえたよ。</p> <p>・聞き取りづらい時には、聞き手が内容をとらえ易いように、読みを手伝う。</p> <p>つぶやきを拾い上げる。</p> <p>大きな声で言えるよ(^-^)</p> <p>～と思ったんだね。</p> <p>・答え易いように選択肢を2つか3つ提示する。</p>	<p>(※口を隠さず、はっきりと読めたか。)</p> <p>・答える場面では、急かさずじっくりと聞く。</p> <p>・聞き取りにくいときには、教師が繰り返し伝える。(T1)</p> <p>みんな、E君が～だって。</p> <p>○○かな? △△かな?</p> <p>・じっくり待つ。</p>	<p>※5W1Hをはっきりと読めたか。</p> <p>・上手に読めたら、ハイタッチで認める。</p> <p>・答えに自信が持てずにつぶやいているときには励ます。</p> <p>いいよ。大丈夫!</p> <p>いい考えだね。みんなにも教えようか。</p> <p>・いいつぶやきが出たときには、取り上げて褒めたり広めたりする。</p>
35分						

③新聞についての交流
テレビに映し出された新聞を見ながら交流する。

何をしているの？
これは、何ですか。
それは、どうして？
どうやったの？ やってみて。
どれのことか指さして教えてちょうだい。
何か言っているみたいだね。何て言っているの？
感想を言えたらすごいね。

- テレビの画面に目を向けるよう促す。
..だよ。
- 新聞とかかわりのあることを自分から話し始めたときには、じっくり聞く。
- 答えやすいように選択肢(言葉カード)を2つか3つ提示する。
だれ?(カードを示しながら) ○かな△かな。
- 集中できなくなったときには、マッチング課題を与える。

• 新聞の内容をつかむ手がかりとして拡大した写真や絵を示す。
(絵を描いて示し)こんなふうになっているね。
※記事に書かれている様子を言葉で説明したり、動作で表したりできたか。
• うまくできない時にはモデリングする。
こんな感じだね。B君もやってみて。

• 映像に注視できたことを褒める。
よく見ていたね。
※質問に答えることができたか。
• 答え易いように選択肢を2つか3つ提示する。
• 画面を指さして教えたり、説明したりしてもよいことを話す。
※友達の新聞を見て感想を言うことができたか。
• 新聞についての感想を促す。
上手なところはどこだった？

• 結論から先に言うよう促す。
「どうしたのか」を先に短く言おう。その後で説明してね。
• できたらすぐに声をかける。
今の説明、分かりやすかったよ。
※友達の新聞発表について感想を言うことができたか。
• 新聞の内容から気づいたことを言うように、どこからわかったのか確認する。

• 映像からの気づき、疑問点を見つけられたことなどを褒める。
よく聞いていたね。
いい質問だね。
理由も考えられたね。
※質問に答えることができたか。
• 答え易いように選択肢を2つか3つ提示する。
○○だったの？それとも△△？□□だったかな？近いのはどれかな？

4 学習を振り返る。
しっかり読めましたね。しっかり聞けましたね。

5 次時の学習を知る。
次は、新聞配りです。練習してから行きましょう。誰に配りに行きますか。

まとめ
5分

• それぞれの課題については、課題場面ごとに評価をしているので、みんなのがんばりを認め合う。

- 相手意識の確認をしやすいように、渡す相手の写真を用意する。
○○さんに渡す。
- 渡す相手を考えやすいように、他の子を先に指名する。
ぼくも□□さんに渡したいです。
- 事前に確認した相手を思い出すように、ヒントを出す。
ぼくは□□さんに渡したいです。
- 早く届けたいという気持ちに共感する。
いつ行くんですか。
- 発表したことや、相手意識をもてたことをほめる。
△△さんにも渡したいな。